

魚 群 探 見 飛 行

宇 野 守 一， 安 源 之 允

I 趣 旨

犬吠近海より黒汐本流又は接岸北上分枝の流路上及び寒流の南下によりこの海城（犬吠近海より金華山近海）の海況は例年複雑な汐境を形成している。この暖寒両流の消長によつて北上するカツオ，イワシ，サバ，マグロ等旋網漁業の対象魚を調査するため，東北4県（茨城，宮城，岩手，青森）及び北部太平洋海区旋網漁業協議会が共同して昨年引続いて5月～7月に亘り本県相当海城を調査したのでその結果を報告する。

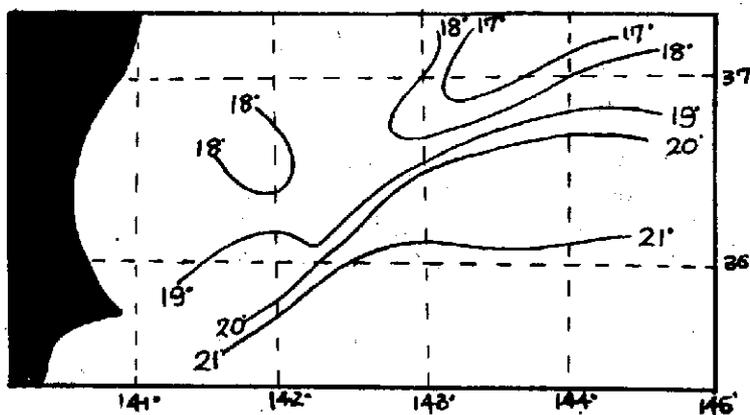
II 目 的

この調査は犬吠近海より北上する黒汐流に乗つて北上するカツオ，マグロ，サバ，イワシ等の魚群の来游状態を調査し東北海区において操業する旋網各船の誘導，併せて漁況，海況との相関性等について調査し斯業の発展に寄与する目的で本調査を実施した。

III 方 法

- 1 使用機 水産航空KK
- 2 構 造 イ単発上翼木金製，セスナ175型
- 3 塔 乗 員 調査員 延6人
- 4 調査月日 昭和34年5月20日 46.1 46.2
昭和34年6月 3日 46.3
昭和34年6月13日 46.4
昭和34年7月17日 46.5
- 5 調査海城 犬吠近海より金華山近海

IV 調 査 結 果



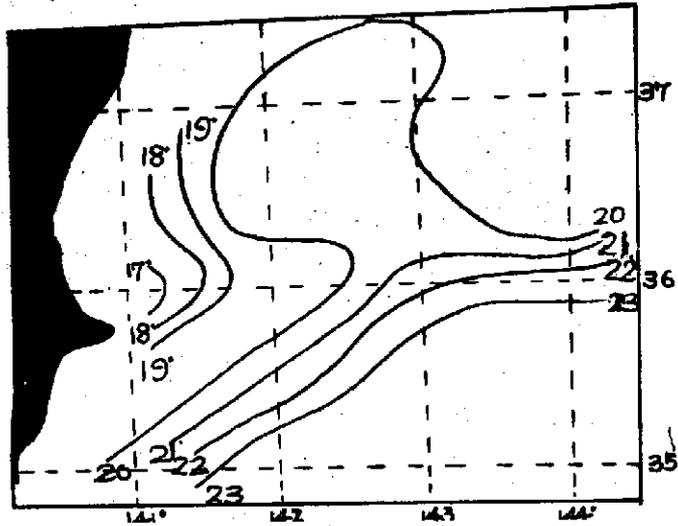
才 1 | 図 5 月 海 況

1 調査時における海況状態

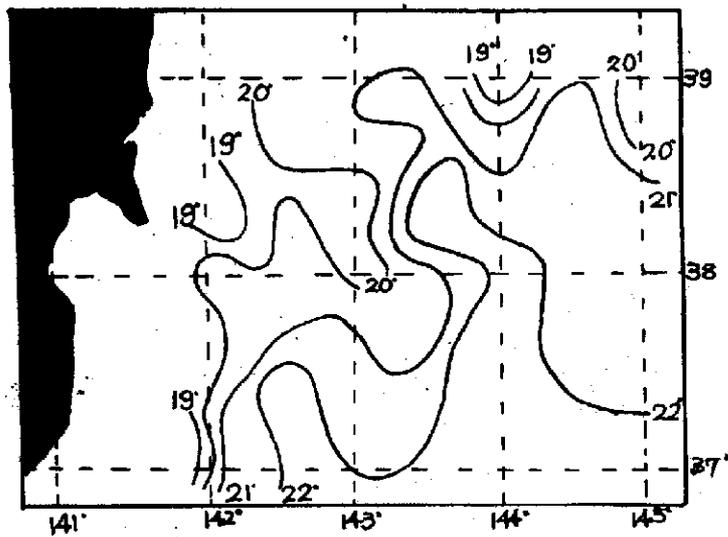
5月 黒汐の流れは野島崎近海より北東に向つておつて20℃等温線は5月下旬後半では犬吠近海より黒汐主流の進路同様北東に分布がみられた。一方親汐の流れはE144° N38°付近よりSW~SSWに張り出しがみられていたが全般に本年は例年に比較し若干高目を示していた。

6月 黒汐の主流は例年より南偏して流れておつて又、この月では水温の上昇は例年より遅れていた。黒汐の近海北上分枝は(接岸才1分枝)E143°線を北に張り出しておつて先端は金華山東に達していた。全般に黒汐の流路の中は例年に比較しこの年は狭くなつていた。

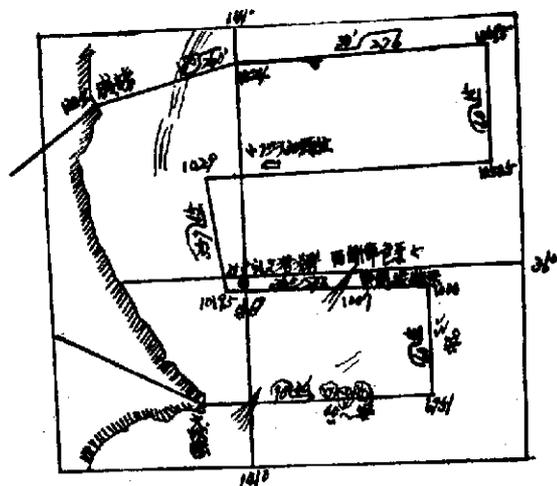
7月 黒汐の主流の流軸は先月同様例年より南偏して流れていた。即ち黒汐は犬吠近海より北東に向つて流れ、北上分枝は金華山東方のE145°線を北に伸びていた。従つて犬吠近海より金華山近海は完全に暖水帯に覆われて7月下旬後半では23℃以上の水帯を示した。



才2図 6月海況

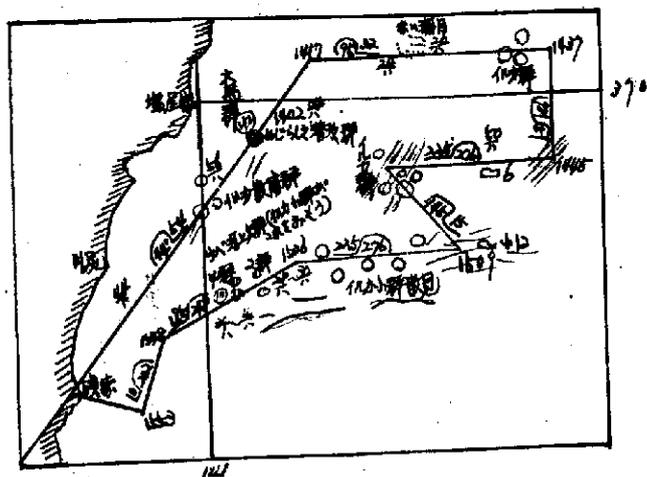


才3図 7月海況



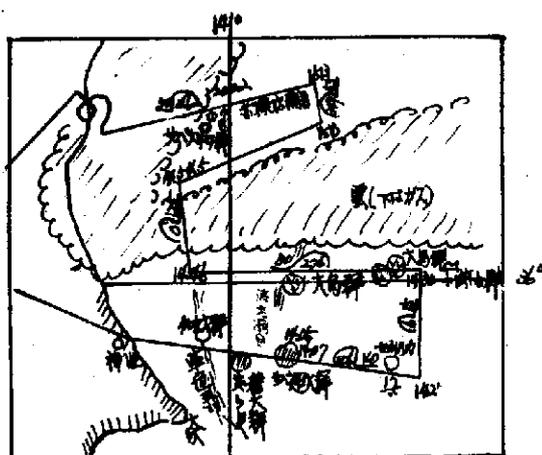
実施月日 5月20日
 離陸 09h-00m
 着陸 12h-01m
 高度 400m
 天候 晴
 風向風力 (H400m) 16' NNW
 視界 20'

才1図 航跡図



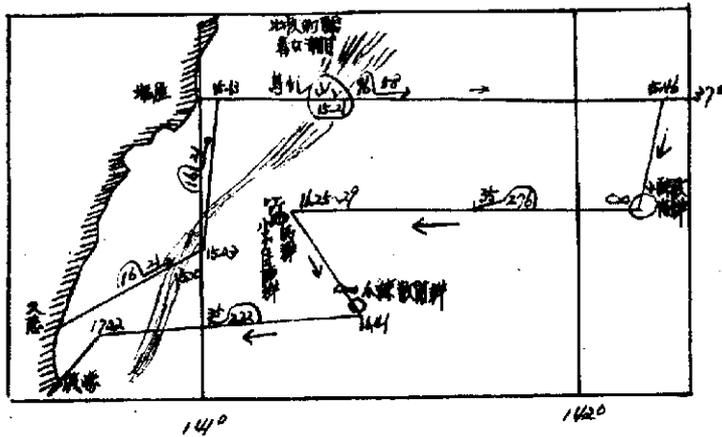
実施月日 5月20日
 離陸 13h-08m
 着陸 16h-24m
 高度 400m
 天候 晴
 風向風力 (H400m) NNW 16'
 視界 20'

才2図 航跡図



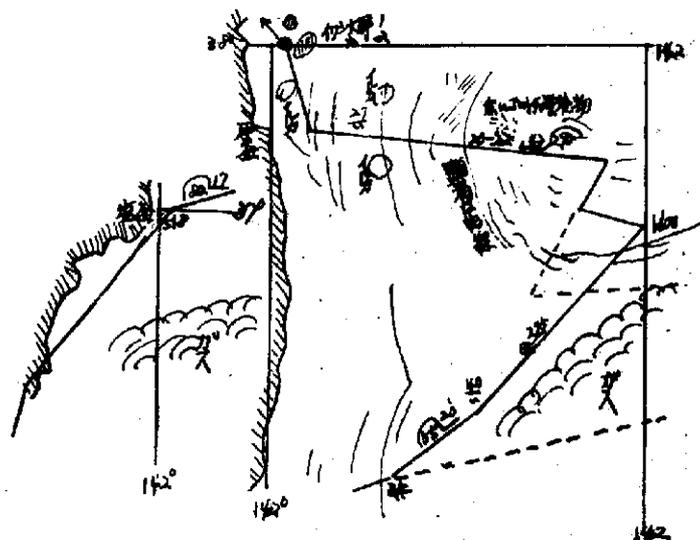
実施月日 6月3日
 離陸 13h-20m
 着陸 16h-00m
 風向風力 (H400m) ENE 15'
 高度 400m
 天候 晴, 曇
 視界 1' ~ 15'

才3図 航跡図



才4図航跡図

実施月日 6月13日
 離陸 14h-22m
 着陸 17h-45m
 風向風力 SW 12' ~ 19' (H400m)
 視界 10' - 35'
 天候 曇
 高度 400m



才5図航跡図

実施月日 7月17日
 離陸 14h-20m
 着陸 17h-08m
 高度 400m
 天候 晴所々ガス
 風向風力 NE 20' ~ 8 (H400m)
 視界 7' ~ 40'